

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		主担当課: 上下水道総務課 担当課: お客さまサービス課、水道工事課、下水道工事課、浄水課、下水道施設課、北部上下水道課、天竜上下水道課
	03	06	01	04	01	

政策
上下水道の組織体制の強化

政策の内容

上下水道に関する専門人材の確保と技術力の継承により、今後必要な事業量に対応できる体制を整備します。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
-	-						

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

・人口減少などにより料金収入等が減少する中、上下水道施設の老朽化が進み、今後の事業量も増加する見込み。加えて、資材価格や労務費が上昇しており、さらなる経営効率化や計画的な財政運営が必要になっている。

・自然災害の頻発化と激甚化が進んでおり、特に令和6年能登半島地震では上下水道施設に甚大な被害が生じた。この経験から、浄水場、浄化センター等の上下水道システムの急所施設や避難所等の重要施設に接続する上下水道管路等の耐震化を推進する必要がある。

・デジタル技術の進展は、施設の運営や維持管理、業務管理などの事業運営において大きな変革をもたらすことが期待されており、デジタルトランスフォーメーション(DX)を推進する必要がある。

・国目標の2050年のカーボンニュートラル・脱炭素社会の実現に向けて地球温暖化対策を推進する必要がある。

・今後10年間(2025～2034年度)で本市の上下水道事業が目指す方向や今後の取組などを示す上下水道一体の「浜松市上下水道基本計画」に基づき、取組を進めている。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	231,658				
決算	203,236				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	26.0				
会計年度任用職員	2.0				
暫定再任用職員(31時間勤務)	0.8				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
人材育成の推進	○水道事業 ○下水道事業 【上下水道総務課】 施設の耐震化や老朽化した施設の更新など必要な事業量に対応できる体制を構築するため、 専門人材の育成・確保と技術力の継承に取り組む	985
		767
業務効率化の推進	○水道事業 【上下水道総務課】 上下水道部クラウド基盤利用料、クラウドPBX実証事業など ○下水道事業 【上下水道総務課】 電子計算機器一般会計負担金など 【下水道工事課】 GISマッピングシステム使用料	230,673
		202,469
広域化の推進	○水道事業 【上下水道総務課】【浄水課】 「静岡県水道広域化推進プラン」に基づく遠州圏域における事務の共同化について検討 ○下水道事業 【上下水道総務課】【下水道工事課】 「静岡県生活排水処理広域化・共同化計画」に基づく共同での人材育成の実施	-
		-

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
研修等への参加者数(水道)(人)	内部研修、外部研修に参加した延べ人数	施設の耐震化や老朽化した施設の更新など必要な事業量に対応できる体制を整備するため、専門人材の育成・確保と技術力の継承に寄与する取組を活動指標として設定	目標値	-	500	500			
			実績値	525	605				
			達成率	-	121%				
研修等への参加者数(下水道)(人)	内部研修、外部研修に参加した延べ人数	施設の耐震化や老朽化した施設の更新など必要な事業量に対応できる体制を整備するため、専門人材の育成・確保と技術力の継承に寄与する取組を活動指標として設定	目標値	-	195	195			
			実績値	197	337				
			達成率	-	173%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
研修受講者アンケートにおける理解度(水道)(%)	アンケートの理解を測る項目について、「よく理解できた」「理解できた」の割合	水道事業について、人材育成の推進における総合的な短期成果指標として設定	目標値	-	93	93	93	93	93
			実績値	93	100				
			達成率	-	108%				
研修受講者アンケートにおける理解度(下水道)(%)	アンケートの理解を測る項目について、「よく理解できた」「理解できた」の割合	下水道事業について、人材育成の推進における総合的な短期成果指標として設定	目標値	-	95	95	95	95	95
			実績値	95	95				
			達成率	-	100%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
水道技術管理者の資格を有する職員の割合(%)		水道事業会計職員のうち、水道技術管理者の資格を有する職員の割合	実績値	40.3	41.3					38.5
			達成率	100%	107%					
下水道法等に定める資格を有する職員の割合(%)		下水道事業会計職員のうち、下水道法施行令第15条及び同第15条の3に定める資格を有する職員の割合	実績値	74.7	74.4					71.6
			達成率	100%	104%					

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

安全・安心な上下水道が地域社会の中で健全な水循環に貢献している。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
人材育成の推進	○水道事業 ・浜松市職員人材育成・確保基本方針の「各課主催研修」と「OJT・職場研修」に基づいた「水道工事課研修計画」により部内研修として技術研修を行った。また庁外研修については同方針の「派遣研修」に基づき日本水道協会等が行う各種研修会へ参加した。 ○下水道事業 ・下水道に関する知識や技術の習得を図るため、庁内や外部団体が主催する研修へ参加した。	○水道事業 技術研修を実施し、課題となっている専門人材の育成を図る。 ○下水道事業 技術力の維持向上を図るため研修へ参加する。
業務効率化の推進	○水道事業 ○下水道事業 ・給水管及び取付管にかかる道路占用許可申請手続きについて、道路管理者との覚書を締結したことにより業務の根拠を明確にした。 ・予算要求及び決算資料の様式のExcel化によりコアらの使用制限にかかわらず作業が可能となったことに伴い作業の時間と負担を軽減した。	業務の根拠の明確化や事務負担が軽減した。 今後も窓口申請のオンライン化や災害時の情報共有方法の見直しに取り組む
広域化の推進	○水道事業 当初予定していた静岡県企業局との薬品の共同調達については、静岡県企業局との協議の結果、見送りになった。そのため、成果指標として設定している「静岡県企業局や遠州圏域内の自治体との事務の共同化による経費削減」を達成するために新たな取組を検討した。 ○下水道事業 下水道遠州広域化研修会の実施 ・静岡県生活排水処理広域化共同化計画に基づき、技術力の相互補完や効率的な事業運営の推進を図るため、研修会を開催した。	○水道事業 経費削減可能な新たな取組を検討する。 ○下水道事業 広域化の推進を図るため研修会を開催する。

「②活動(アウトプット)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

「③短期成果(アウトカム)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否	

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

- ・研修の参加人数や受講した研修の理解度は目標を上回り、また上下水道事業に関する資格を有する職員は目標とする水準を維持することができた。
- ・今後は専門的知見を活用し、職員の経営的感覚の育成に取り組む。